

「将来の町を背負う子どもたち」の挑戦！

薩摩中学校 職業体験学習

6月21日、薩摩中学校の全生徒が参加する職業体験学習が開催されました。

この職業体験学習は、汗を流して働くことを体験することで勤労の尊さを学び、保護者や身近な人々の仕事を理解すること、将来の望ましい職業選択や職業観を育てることなどを目的に毎年開催されているものです。

当日は、あいにく雨模様の天気でしたが1年生は農家での農業体験、2年生は老人ホームで各入所者とのふれあい体験、3年生は町内各事業所での職業体験と各学年分かれた体験学習でみんな一生懸命汗を流しました。

今回、「仕事をする事」をどのように感じたのか作文にまとめてもらいました。

(写真は作文内容とは関係なく掲載しています)

職業体験に参加して

薩摩中三年

高橋麻美さん



お忙しいときに職業体験という、時間を割いていただいていたありがとうございます。カボチャをなにげなく食べていた私だったけど、箱詰め、個数の確認、箱づくりなどいろいろな作業がありました。私たちは店で買う方の立場だったけど、この体験で私たちにカボチャが届くまでのことが分かった気がします。次にアスパラガスを切る作業は、長さをそろえること、できるだけまっすぐ切ること。この作業は、結構夢中になりました。ガソリンスタンドで窓拭きをしたときは、きれいになった車とお客さんの笑顔がいいと思いました。いつも拭いてもらう立場なので、拭くのもいいなあと思いました。

3カ所も回ることができて、とってもいい体験になりました。長いと思った1日はとても短くて、貴重な体験でした。この体験を生かして今後もがんばりたいと思います。1日ありがとうございました。(さつま農協で体験実習)



▲うまく食べさせられるかな！（恵光保育園）

薩摩中二年

中島 成子さん



私は福祉体験で、のぞみ園に行きました。最初は、何だ

か恥ずかしいという気持ちでした。でも、のぞみ園の職員の方や、お年寄りの方の笑顔で、少しずつ気持ちも落ち着いてきました。

最初は、私たちの大先輩であるお年寄りの方々と、どのように会話していいのか、分かりませんでした。しかし、自分のおいしいちゃん、おばあちゃんのつもりで接してみると、結構会話をすることができました。

私はのぞみ園で最初に窓拭きをしました。その後ディサービスの方とレクリエーションをしました。お年寄りの方は、私が予想していたより元気で感激しました。その後も食事介助や入浴見学などをしました。食事介助では、スプーンを使い食べて頂きました。突然、食べて頂く中で泣かれてしまった時はびっくりしました。しかし、職員の方の手を借りながら何とか食べてもらえてほっとしました。のぞみ園では、お年寄りの入浴に特に気を遣っていると聞きました。健康面や安全面、そしてお年寄りの気持ちを考